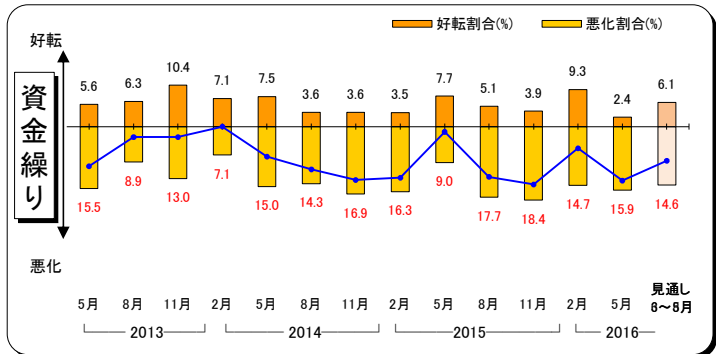
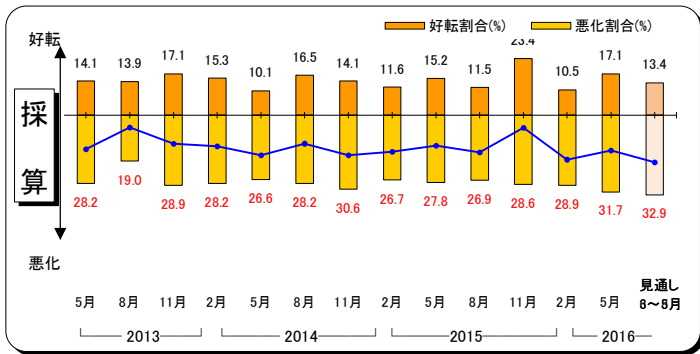
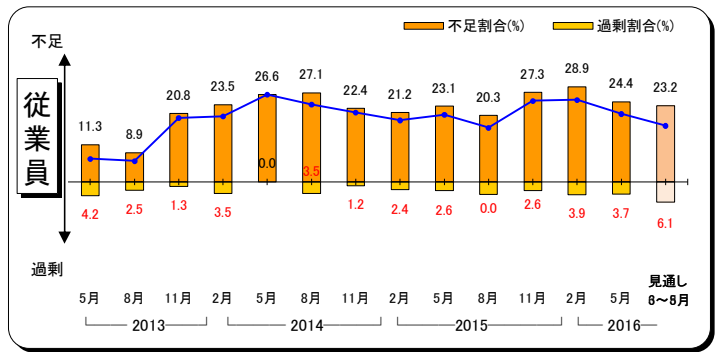
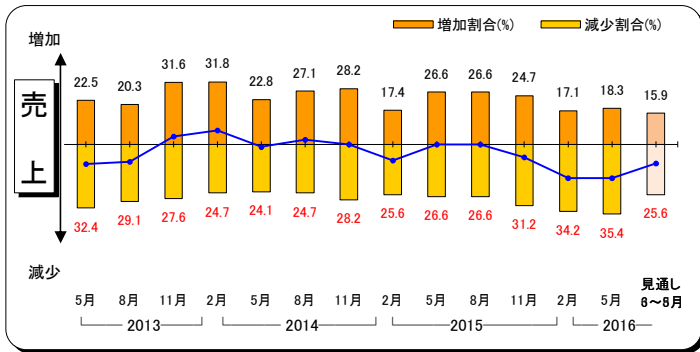
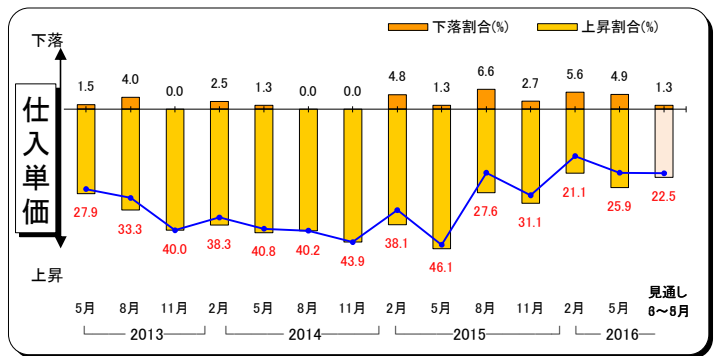
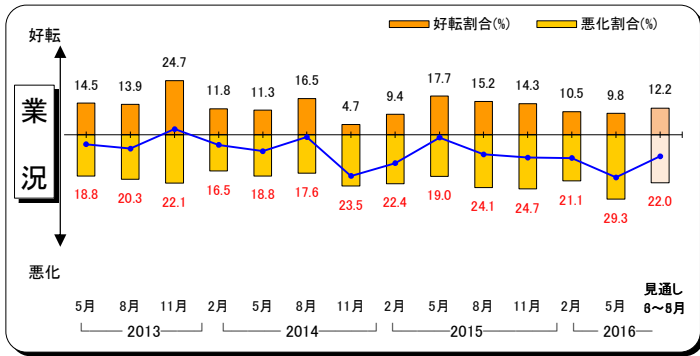


【サービス業】①



【サービス業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

広告業	成約には至らないが、見積もりの依頼等が増えており、業況に好転の兆しが見える。
運輸付帯サービス業	原油価格の低下、中国経済の減速、株価の乱高下の報道の通り、先行き懸念を指標が示している。仕入価格は若干上昇、今後は価格への上乗せが難しくなるだろう。賃金は、現状通りに推移すると思われる。上記の状況からすぐに影響を受けることはないが、若干仕事量が減っているように思う。設備投資は予定していない。新規の事業を立ち上げたが、見通しは厳しいか。人手は都度対応していく予定である。
運輸付帯サービス業	総体的に低調であるエネルギー輸入の関係から3月までに堅調に推移したが、その後は低調に転じている。円高に依る影響は原材料を主体とした港の特徴から極端なほどには無い。一時期の政策の効果（円安）も即効性も失せている。逆に極端な円高が輸出に影響し、本船の入出に影響が出ないか懸念もある。今後も低調に推移すると思って気を引き締めている。
不動産管理業	空室が多く業況は悪化していると思う。
建築設計業	新年度が始まり、入札が少しずつありますが、民間の単発受注が僅かにあり、息をついている状態である。千葉市の公共入札は業者のランクが無く、市内全社が参加していて、常に最低価格競争に終始し、そのほとんどが数社及び数十社の抽選化の様であり、入札制度の変更をしない限りとても受注に結び付かない。（ちなみに当社の27年度の受注はゼロである。）
建築設計業	新年度がスタートして2カ月が過ぎようとしている。28年度予算の前倒し執行が叫ばれているが、実感が無い状況である。早期の発注とその後の追加予算・執行に期待している。
建築設計業	ゼロ金利等、いろいろ試行錯誤の状況が続いているが、景気の浮揚感は全く感じられない。大企業は潤っても、中小・零細への波及効果は期待できない。
旅館・ホテル	現在は電気・ガス代の単価が下がった事により、辛うじてプラスになっているような状況です。
ラーメン店	アルバイト、パート単価の上昇により利益の圧迫があります。人員の整理なども含み、カットも考えていかなければならない。
すし店	ゴールデンウィークに初めて5日連休しましたので売上が減少しました。
専門料理店	天候不順、熊本震災等の影響か、5月の売上の伸びが悪いようです。輸入業務は円高により仕入単価が改善していますが、飲食部門の仕入単価には影響が及ばず、円安の際に上がったままの状態が続いています。今後については参院選もあり、あまり期待できないのではないと感じます。
機械修理業	国内外共に物（建機・産業機械）の流れが膠着している様子。特に円高109\$/円～は海外からの連絡が止まってしまい、オークションも値下がりにより活状低価の様子が見えます。全てが様子を見る状態の様相、円高へ誘導が必要となるかと思われれます。